【令和２年 11 月修正】

平成 30 年度

内航船によるフィーダーコンテナ輸送

調査結果報告書

日本内航海運組合総連合会

基本政策小委員会

フィーダーコンテナワーキング・グループ

令和元年８月２８日

目　次

1.　調査対象並びに調査時期について 1
(1)　回答について 1
(2)　船種について 1
(3)　事業者名及び対象船舶について 2
2.　調査結果について
(1)　輸送実績の推移 3
(2)　地域別輸送量の推移
①取扱量（積揚合計）の推移 4
②積地別の推移　③揚地別の推移 5
(3)　港別取扱量（積揚の合計）の前年度との比較 6
(4)　各事業者からの特記事項 7
3. 概況トピックス 8
4. 韓国フィーダーの現況
(図 4-1)　釜山港の対日コンテナ取扱実績 9
(図 4-2)　内航フィーダーに対する釜山フィーダーの比率 9
(表 4-3)　日韓（釜山）フィーダーと日韓輸出入コンテナの港湾別比較 10

別紙付録：

◆事業者への調査依頼書・回答用紙

◆積地・揚地による集計結果　（コンテナ（合計・実入・空）別とコンテナ（20・40）別）

１．調査対象並びに調査時期について

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、従前からの調査対象事業者12 社に対して、平成 31 年 4 月～令和元年 5 月において調査を実施した。

(1) 回答について

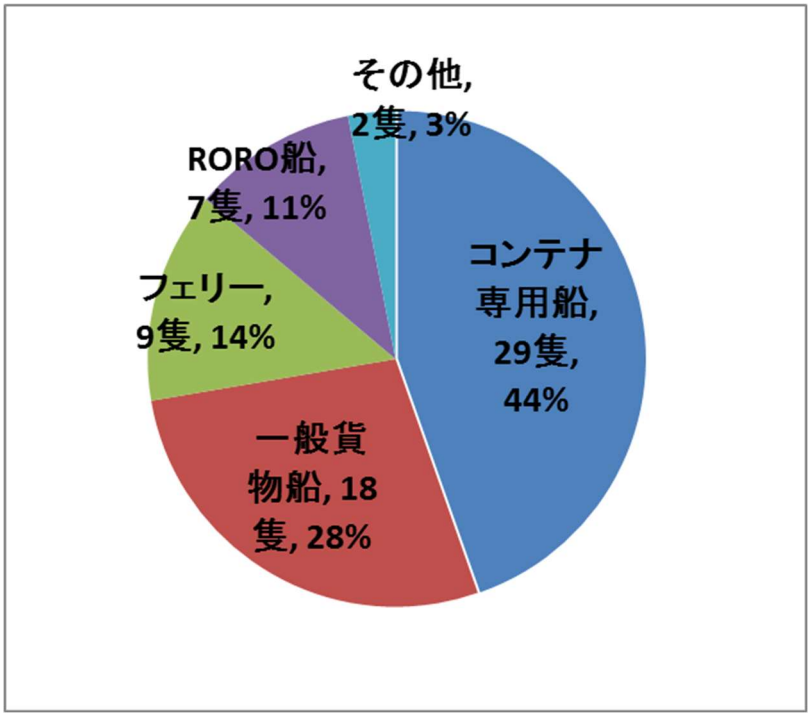
調査を依頼した 12 社（29 年度 12 社）のうち、10 社から回答を得られた。

該当無しが 2 社あった。

(2) 船種について

コンテナ専用船 29 隻（29 年度 27 隻）、一般貨物船 18 隻（29 年度 19 隻）、フェリー9 隻（29 年度 7 隻）、RORO 船 7 隻（29 年度 7 隻）、その他 2 隻（29 年度 2 隻）であり、合計 65 隻（29 年度 62 隻）となり、前年度比で隻数は 105%となった。

船種	30年度	29年度	前年度比
	隻数	隻数	隻数
コンテナ専用船	29隻	27隻	107%
一般貨物船	18隻	19隻	95%
フェリー	9隻	7隻	129%
RORO船	7隻	7隻	100%
その他	2隻	2隻	100%
合計	65隻	62隻	105%



(3) 事業者名及び対象船舶について

平成30年度
事業者名及び対象船舶一覧

（五十音順・平成31年3月現在）

事業者名	対象船舶		
	船種	船型	隻数
井本商運（株）	一般貨物船	498型	3隻
	一般貨物船	499型	2隻
	一般貨物船	749型	3隻
	コンテナ専用船	498型	1隻
	コンテナ専用船	499型	4隻
	コンテナ専用船	749型	12隻
	コンテナ専用船	2,464型	1隻
	コンテナ専用船	2,479型	1隻
	コンテナ専用船	2,507型	1隻
	コンテナ専用船	7,390型	1隻
	コンテナ専用船	7,432型	1隻
近海郵船(株)*1	コンテナ専用船	499型	(2隻)
	コンテナ専用船	749型	(2隻)
	コンテナ専用船	749型	1隻
	RORO船	11,229型	2隻
四国開発フェリー(株)	フェリー	9,917型	1隻
	フェリー	9,975型	1隻
	フェリー	15,732型	1隻
	フェリー	14,759型	2隻
鈴与海運(株)	一般貨物船	499型	8隻
	コンテナ専用船	749型	4隻
	コンテナ専用船	5400型	1隻
ナラサキスタックス(株)*2	コンテナ専用船	7,390型	(1隻)
日本通運(株)	RORO船	10,470型	1隻
	RORO船	10,471型	1隻
	RORO船	10,497型	1隻
	RORO船	10,626型	2隻
阪九フェリー(株)	フェリー	13,353型	2隻
	フェリー	15,897型	2隻
マツダロジスティクス(株)*2	コンテナ専用船	499型	(1隻)
	コンテナ専用船	749型	(2隻)
(株)ユニエックス	その他	548型	1隻
	その他	585型	1隻
	一般貨物船	499型	2隻
横浜コンテナライン(株)	コンテナ専用船	749型	1隻

＊1については鈴与海運(株)との共同運航であるため、隻数は鈴与海運(株)の隻数に含まれる。

＊2については井本商運(株)との共同運航であるため、隻数は井本商運(株)の隻数に含まれる。

南日本汽船 (株)の実績は無し。西日本内航フィーダー合同会社は内航フィーダー部門から撤退した。

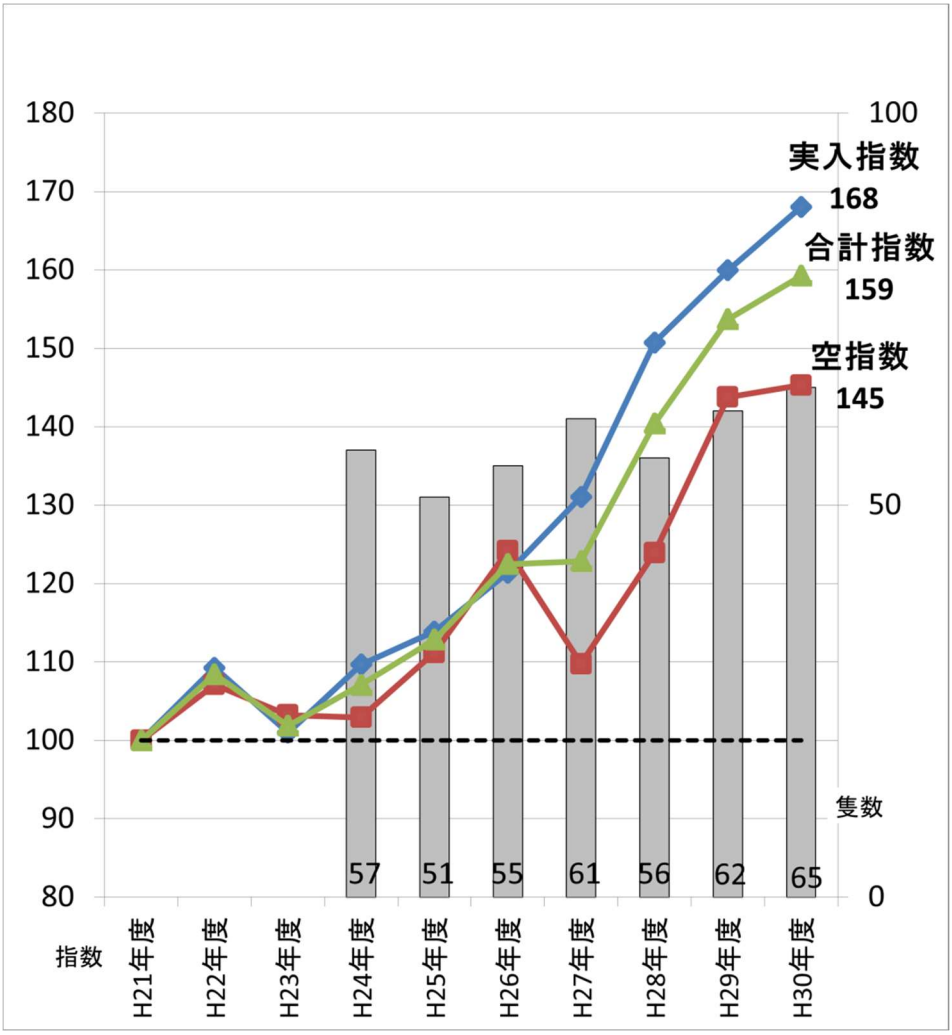
２．調査結果について

(1) 過去５年間の輸送実績推移

平成 30 年度のフィーダーコンテナの輸送量は 909,298 TEU で前年度よりも 4%増えた。このうち実入コンテナは 589,103TEU で前年度比 5%増、空コンテナは 320,195 TEU で前年度比 1%増であった。調査開始の 21 年度の実績を 100 とする指数で表示すると、合計指数は 159、実入指数は 168、空指数は 145 となっている。輸送に関わる船腹量については、棒グラフに示した通り前年度の 62 隻から 3 隻増えて 65 隻であった。

（単位：TEU）

種別/年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比
実入	425,501	459,429	528,452	560,727	589,103	105%
空	273,704	241,853	273,089	316,837	320,195	101%
実入指数	121	131	151	160	168	－
空指数	124	110	124	144	145	－
合計	699,205	701,282	801,541	877,564	909,298	104%
合計指数	122	123	140	154	159	－



(2) 地域別輸送量の推移

① 取扱量（積揚合計）の推移

平成 30 年度の内航フィーダーコンテナの取扱量（積と揚の合計）は 1,819 千 TEU で前年度に比べて 4%の増加であった。

地域毎の割合を見ると関西が全体の 32%を占め、次いで関東が 21%、中国地方が 17%と続き、前年度と同傾向となった。また、前年度は関東、東北、四国が二桁増となっていたが、今年度は北海道と九州の伸びが顕著となった一方、東北、四国は落ち込みが見られた。

中国地方は調査開始より増加率が高い状態が継続しており、前年度は伸びに鈍化が見られたものの今年度は回復した。

（単位：TEU）

積揚合計	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比	割合
北海道	32,686	37,855	44,659	53,998	63,666	118%	4%
東北	102,666	124,602	127,422	163,208	151,063	93%	8%
関東	236,383	255,213	292,386	355,883	377,318	106%	21%
中部	122,656	91,238	116,950	119,920	121,310	101%	7%
関西	463,317	456,073	529,889	555,767	574,279	103%	32%
四国	102,183	81,483	88,004	96,567	79,651	82%	4%
中国	241,540	247,995	289,938	279,893	306,158	109%	17%
九州	96,850	107,985	113,834	129,892	145,151	112%	8%
沖縄	129	120	0	0	0	0%	0%
合計	1,398,410	1,402,564	1,603,082	1,755,128	1,818,596	104%	100%

＊同一のコンテナを積と揚でそれぞれカウントしているため、輸送量の２倍になる。

②積地別の推移

中国地方は減少から増加に転じた。北海道も伸びが高かった。

次いで、関東、中部も増加した。一方で、四国、東北、九州は減少した。なかでも四国の落ち込みが大きいものとなった。

（単位：TEU）

積地	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比	割合
北海道	16,225	19,531	22,440	30,840	36,366	118%	4%
東北	47,768	59,856	62,816	80,426	76,792	95%	8%
関東	118,008	126,556	145,994	175,070	186,729	107%	21%
中部	57,867	47,795	57,716	58,653	60,245	103%	7%
関西	243,507	223,206	261,953	289,944	288,628	100%	32%
四国	53,510	43,496	45,038	47,090	41,735	89%	5%
中国	112,491	121,260	139,091	120,209	145,862	121%	16%
九州	49,829	59,582	66,493	75,332	72,941	97%	8%
沖縄	0	0	0	0	0	0%	0%
合計	699,205	701,282	801,541	877,564	909,298	104%	100%

③揚地別の推移

前年度比では九州、北海道は二桁の増加が見られた。関西の持ち直しが見られたほか、関東も増加した。東北、四国は減少した。中部並びに中国地方は前年並みとなった。

（単位：TEU）

揚地	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比	割合
北海道	16,461	18,324	22,219	23,158	27,300	118%	3%
東北	54,898	64,746	64,606	82,782	74,271	90%	8%
関東	118,375	128,657	146,392	180,813	190,589	105%	21%
中部	64,789	43,443	59,234	61,267	61,065	100%	7%
関西	219,810	232,867	267,936	265,823	285,651	107%	31%
四国	48,673	37,987	42,966	49,477	37,916	77%	4%
中国	129,049	126,735	150,847	159,684	160,296	100%	18%
九州	47,021	48,403	47,341	54,560	72,210	132%	8%
沖縄	129	120	0	0	0	0%	0%
合計	699,205	701,282	801,541	877,564	909,298	104%	100%

(3) 港別取扱量（積揚の合計）の前年度との比較

神戸港が 514 千 TEU で 1 位となり前年度比 3%増。横浜港、広島港、苫小牧港、清水港、大阪港は二桁増となった。東京港、博多港、仙台港は前年が大きく増加したが本年度は減少した。また、名古屋港も減少が見られた。

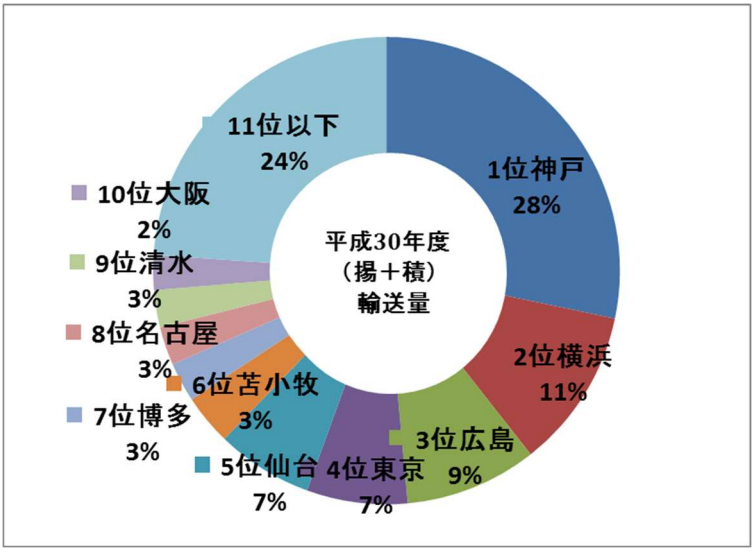
※令和 2 年 11 月修正

（単位：TEU）

ランク	港名	30年度計	積／実入	積／空	揚／実入	揚／空	前年度比
1位	神戸	514,369	119,006	122,097	230,508	42,758	103%
2位	横浜	202,109	71,102	25,396	60,911	44,700	110%
3位	広島	166,380	78,555	1,166	21,227	65,432	112%
4位	東京	127,049	35,723	32,582	55,576	3,168	82%
5位	仙台	121,444	47,822	13,044	44,436	16,142	97%
6位	苫小牧	63,666	9,207	27,159	26,200	1,100	118%
7位	博多	49,657	14,372	9,203	21,852	4,230	104%
8位	名古屋	48,447	23,304	811	6,890	17,442	83%
9位	清水	46,560	19,584	5,355	13,194	8,427	111%
10位	大阪	43,698	2,858	37,894	2,855	91	119%
11位以下		435,217	167,570	45,488	105,454	116,705	108%
計		1,818,596	589,103	320,195	589,103	320,195	104%

29年度（積＋揚）輸送量

ランク	港名	29年度計	積/実入	積/空	揚/実入	揚/空
1位	神戸	501,245	115,203	137,130	198,385	50,527
2位	横浜	183,890	63,308	21,631	67,434	31,517
3位	東京	154,576	48,989	33,481	65,221	6,885
4位	広島	148,243	62,545	1,137	20,046	64,515
5位	仙台	124,923	50,628	10,144	46,029	18,122
6位	名古屋	58,146	25,835	1,655	7,904	22752
7位	苫小牧	53,998	10,869	19,971	21,276	1882
8位	博多	47,578	14,998	13,217	16,632	2731
9位	清水	41,912	18,342	4,761	14,573	4,236
10位	新居浜	40,307	15,810	4,977	6,567	12,953
11位以下		400,310	134,200	68,733	96,660	100,717
計		1,755,128	560,727	316,837	560,727	316,837



(4) 各事業社からの特記事項

・ 広島及び中関から神戸への輸出フィーダーが増加（広島：約 10,000TEU 増, 中関：約 8,000TEU 増)、広島への空コンテナ供給元として大阪発が増加　（約 5,000TEU 増。一方で神戸から広島への空輸送は約 4,500TEU 減）。
神戸から中関への空供給は約 4,000TEU の増加。門司及び博多から神戸への輸出フィーダーが減少（門司：約 7,000TEU 減、博多：約 2,500TEU 減）、一方、ひびきから神戸への輸出フィーダーは約 2,400TEU 増、神戸から博多への輸入フィーダーは約 5,500TEU 増。
京浜 - 苫小牧航路に関して、当社は 2018 年度より京浜港の寄港を横浜のみとした為、実入と空含め東京港の扱いは無くなり約 3,800TEU 減、一方で横浜港の扱いは約 4,800TEU 増となった。以上、主に 3,000TEU 以上増減のあった定期航路の中から特記した。なお、外貿全体としての 2018 年度取扱量は 2017 年度と比べ約 30,000TEU 増加した。

・ 前年に引き続き、予約状況が非常にタイトになり、コンテナの予約が取れず、コンテナ輸送量の減少につながった。

・ 個数に関しては､最大荷主である自動車メーカーの海外工場向け貨物の増減の影響を受けております。

・ 昨年度の 499 型コンテナ船増配検証結果（3 か月）を踏まえ、30 年度は増配船を実施せず減少。

・ 北海道胆賑東部地震に起因する、苫小牧東港コンテナターミナル損傷による、不寄港、輸送貨物減少等で苫小牧港関連で前年比 1,600TEU 減少。　八戸、仙台港関連では微増。

・ 昨夏、台風 20,21 号の水害被災により、運航休止期間あり。

・ 横浜～東北、苫小牧航路の数量大きく減少。船社貨物ロスによる影響が大きい。神戸～九州の数量は増加。貨物増加に合わせ船腹を増加させたため。

３．概況トピックス

・ 平成 30 年度のフィーダーコンテナ輸送は、資料に示す通り、前年と比較し 4%の増加であった一方、若干の時期のずれはあるが、釜山経由日本諸港発着のほぼ同時期のフィーダー輸送量は対前年比約 10%の増加となっている。

・ 日韓フィーダーの増加幅の多い港は（括弧内は対前年比）、神戸（＋47%）、苫小牧（＋44%）、大阪（+32%）、清水（+23%）、博多（+20%）、東京（＋12%）、横浜（＋11%）等、ハブ港や主要港湾が目立つ。
中小港湾においても、日韓フィーダーの伸び率は 7%と、内航フィーダーの伸び率を上回っており、引き続き内航フィーダーの競争力強化が喫緊の課題となっている。
西日本ハブである神戸港は 9 月に接近・上陸した台風 20 号・21 号により六甲アイランド東部を中心に一時的にターミナル機能を喪失した為、当該期間中、西日本発着のフィーダー貨物が釜山港等へシフトした時期があった。

・ 平成 29 年に大きく伸長した空コンテナ輸送は、平成 30 年度においても増加傾向であった。水性ペイント使用に義務化を主因とする各外航船社のコンテナ不足が継続していた事を示すが、一方で、外航船社統合に伴うインベントリー統合効果によって、一部の港ではコンテナ過不足が相殺された事例があり、伸び率は減少した。又、足許では空コンテナ輸送の需要は減退しているものと思われる。これは、外航船社のコンテナインベントリーの緩和により、海外からの空コンテナの直接供給が増加している事が理由と思われる。

・ 地域別では、平成 29 年度に減少を示した中国地方発着のフィーダー輸送量は、平成 30 年度には輸出出荷の増加により、増加基調に転じた。

・ 一方、減少した地域では東北地方では中国・韓国と東北地方港間の直行サービスの開設・増配等、海外からのサービスの拡充、四国地方では韓国、台湾経由への流出により、関西経由輸入貨物のシェアが減少した事が原因と考えられる。

・ 平成 30 年度は内航コンテナ船・フェリー共に大型化が進んでいるが、一方、近海韓国船社においては、過当競争の回避と資本力の強化を目指した船社統合が政府主導で進められる中、各地方港向け配船に関しても、大型化を伴うサービス統合が進んだ。その結果、8 大港（東京、横浜、清水、名古屋、大阪、神戸、北九州、博多）を除く地方港における日韓フィーダーのサービス頻度は、週当たり 285 便と平成 29 年度と比較して 8 便の減少となった。

付　　録

付　録　目　次

調査依頼書について 1
回答用紙について ..... 2～3

1.　(1)　積地による集計結果（30 年度） 4
　　(2)　積地による集計結果　コンテナ（28～30 年度比較） 5
2.　(1)　揚地による集計結果（30 年度） 6
　　(2)　揚地による集計結果　コンテナ（28～30 年度比較） 7
3.　(1)　積地・揚地・コンテナ（20・40）別による集計結果 8

内 航 総 連 第2号
平 成31年4月1日

フィーダーコンテナ輸送
対象船社ご担当者　様

日本内航海運組合総連合会
基本政策推進小委員会
委員長　田島　哲明

内航船によるフィーダーコンテナ輸送の調査について（お願い）

拝啓　桜花の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

題記の調査については、国際コンテナ戦略港湾で、スポークとなる国内フィーダー事業者が担う外航コンテナ二次輸送の重要性が指摘されているところでもあり、内航フィーダーの充実強化に係る種々施策の必要性を主張していく上で、本調査報告は今後益々貴重な価値を持つものと思料致します。

さて、例年通り平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）における標記に関する輸送量について、調査を下記の通り実施する運びとなりました。

ご多忙中大変恐縮ですが、別紙調査回答票（Excelファイル）にてご回答頂き、メールでご返信を頂きたくお願い申し上げます。

なお、ご回答頂いた内容に関しては輸送数量については公表を予定しておりますが、ご回答内容のデータ等は本調査の目的以外には利用せず、機密保持など、その取扱いには万全を期して実施致します。

敬具

記

1．提 出 期 限　：平成31年4月26日（金）
2．回 答 内 容　：実際に輸送したコンテナ数量のうち、国内用コンテナを除いた外航コンテナの二次輸送によるコンテナ数量
3．問い合わせ　：日本内航海運組合総連合会　調査企画部　平田京子
　提　出　先　　TEL　03-3263-4630　ファクス　03-3263-4330
　　メールアドレス　hira@naiko-kaiun.or.jp

以上

提出先：日本内航海運組合総連合会　　調査企画部　平田　hira@naiko-kaiun.or.jp

内航船による外航フィーダーコンテナ輸送量調査回答票（平成30年度）

貴社名			
TEL		FAX	
e-mail		御担当者名	

1．以下、使用船舶についてご記入下さい。10隻以上ある場合は行をコピーをしてご記入下さい。

船種は必ず表示されるリストより選択してください。（船種が自動で表示されない場合は、キーボードの「F9」ボタンを押してください）

【 使用船舶 】				
NO	船種	船名または船舶番号	船型	単位
1				GT型・みなし重量トン
2				GT型・みなし重量トン
3				GT型・みなし重量トン
4				GT型・みなし重量トン
5				GT型・みなし重量トン
6				GT型・みなし重量トン
7				GT型・みなし重量トン
8				GT型・みなし重量トン
9				GT型・みなし重量トン
10				GT型・みなし重量トン

船種
一般貨物船
コンテナ船
RORO船
フェリー
その他

2．以下、輸送されたコンテナの個数を各欄にご記入下さい。10件以上ある場合は行をコピーをして下さい。

TEU'は20'換算のことを言います。

TEUには40'の個数に2を乗じた個数と20'の個数の合計した個数を入力して下さい。

例えば、No1は【実入りコンテナ】のTEUには（TEU＝E34＋F34＊2）、【空コンテナ】のTEUには（TEU=H34＋I34＊2）

【合計】のTEUはSUM関数で合計して下さい。

【 積地・揚地別 】			【 実入りコンテナ 】			【 空コンテナ 】			【 合 計 】		
NO	積地	揚地	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU
1					0			0	0	0	0
2					0			0	0	0	0
3					0			0	0	0	0
4					0			0	0	0	0
5					0			0	0	0	0
6					0			0	0	0	0
7					0			0	0	0	0
8					0			0	0	0	0
9					0			0	0	0	0
10					0			0	0	0	0

特　記　事　項
前年度と比べて個数の増減等変化が見られたものに対して明確な理由等がございましたらご記入下さい。

以上、ありがとうございました。

1.（1）積地による集計結果（30年度）

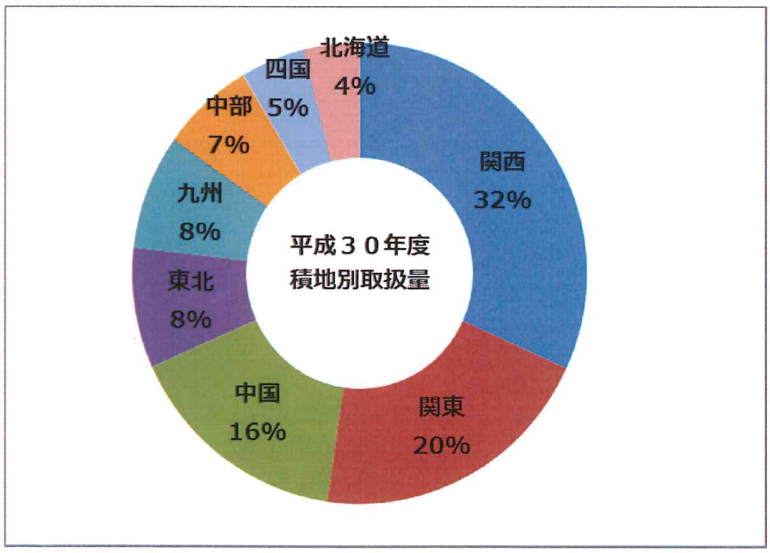
積　地	実入コンテナ			空コンテナ			合　計			地域別割合（%）
	20’	40’	TEU	20’	40’	TEU	20’	40’	TEU	
北海道	1,433	3,887	9,207	2,583	12,288	27,159	4,016	16,175	36,366	4%
東北	8,234	25,410	59,054	2,968	7,385	17,738	11,202	32,795	76,792	8%
関東	17,419	53,016	123,451	12,244	25,517	63,278	29,663	78,533	186,729	21%
中部	6,451	23,100	52,651	2,732	2,431	7,594	9,183	25,531	60,245	7%
関西	22,464	51,187	124,838	3,159	64,881	163,790	56,492	116,068	288,628	32%
四国	14,428	8,147	30,722	34,028	3,927	11,013	17,587	12,074	41,735	5%
中国	17,370	60,591	138,552	1,940	2,685	7,310	19,310	63,276	145,862	16%
九州	11,176	19,726	50,628	5,239	8,537	22,313	16,415	28,263	72,941	8%
総計	98,975	245,064	589,103	64,893	127,651	320,195	163,868	372,715	909,298	100%

［地域別］

北海道：北海道
東　北：青森、岩手、宮城、福島
関　東：東京、神奈川、茨城、千葉
中　部：静岡、愛知、三重
関　西：大阪、兵庫、和歌山
四　国：香川、愛媛、徳島
中　国：広島、岡山、山口
九　州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
　　熊本、長崎、佐賀

［積地港別］

北海道：苫小牧
東　北：仙台、小名浜、八戸、釜石、大船渡
関　東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島
中　部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
関　西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津
四　国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
　　高松、三島川之江、高知、東予
中　国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部、玉島、
　　福山、三田尻中関、防府
九　州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島
　　油津、八代、長崎、薩摩川内、伊万里、新門司



1.(2) 積地による集計結果 コンテナ（合計･実入･空）別 28～30年度比較

【合計】

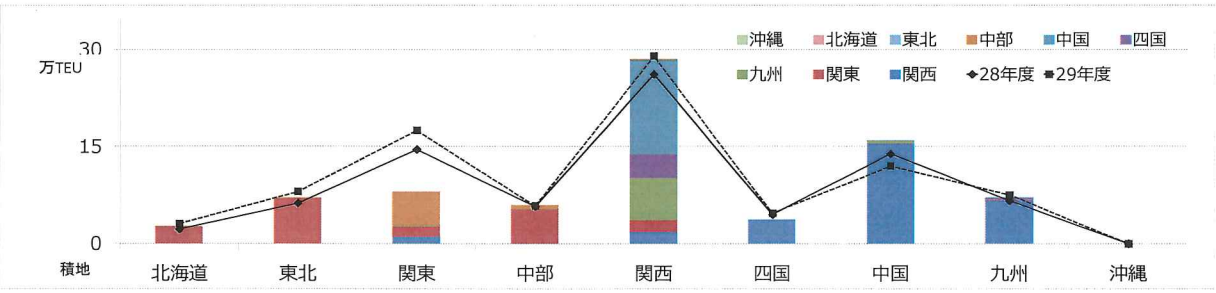
積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	28年度	29年度	30年度	前年比	前々年比
北海道		2,303	33,105	958						22,440	30,840	36,366	118%	162%
東北	30	331	76,419	12						62,816	80,426	76,792	95%	122%
関東	26,866	71,619	16,591	52,114	18,565		222	752		145,994	175,070	186,729	107%	128%
中部	404	18	52,192	6,487	1,144		0	0		57,716	58,653	60,245	103%	104%
関西			10,466	853	18,003	37,870	154,856	66,580		261,953	289,944	288,628	100%	110%
四国				60	37,303	46	405	3,921		45,038	47,090	41,735	89%	93%
中国				0	145,434		164	264		139,091	120,209	145,862	121%	105%
九州			1,816	581	65,202		4,649	693		66,493	75,332	72,941	97%	110%
沖縄										0	0	0	0%	0%
計	27,300	74,271	190,589	61,065	285,651	37,916	160,296	72,210	0	801,541	877,564	909,298	104%	113%

【実入コンテナ】

積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	28年度	29年度	30年度	前年比	前々年比
北海道		189	9,018	0						9,003	10,869	9,207	85%	102%
東北	1	28	59,025	0						48,405	65,081	59,054	91%	122%
関東	25,795	51,173	11,161	19,935	14,762		0	625		102,819	115,777	123,451	107%	120%
中部	404	12	47,641	4,391	203		0	0		50,866	51,079	52,651	103%	104%
関西			10,311	233	11,627	17,386	40,411	44,870		107,718	122,185	124,838	102%	116%
四国				0	27,966	0	0	2,756		32,388	31,018	30,722	99%	95%
中国				0	138,338		0	214		130,662	112,231	138,552	123%	106%
九州			1,796	554	48,254		0	24		46,591	52,487	50,628	96%	109%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	26,200	51,402	138,952	25,113	241,150	17,386	40,411	48,489	0	528,452	560,727	589,103	105%	111%

【空コンテナ】

積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	28年度	29年度	30年度	前年比	前々年比
北海道		2,114	24,087	958						13,437	19,971	27,159	149%	202%
東北	29	303	17,394	12						14,411	15,345	17,738	106%	123%
関東	1,071	20,446	5,430	32,179	3,803		222	127		43,175	59,293	63,278	137%	147%
中部	0	6	4,551	2,096	941		0	0		6,850	7,574	7,594	111%	111%
関西			155	620	6,376	20,484	114,445	21,710		154,235	167,759	163,790	109%	106%
四国				60	9,337	46	405	1,165		12,650	16,072	11,013	127%	87%
中国				0	7,096		164	50		8,429	7,978	7,310	95%	87%
九州			20	27	16,948		4,649	669		19,902	22,845	22,313	115%	112%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	1,100	22,869	51,637	35,952	44,501	20,530	119,885	23,721	0	273,089	316,837	320,195	116%	117%



2.（1）揚地による集計結果（29年度）

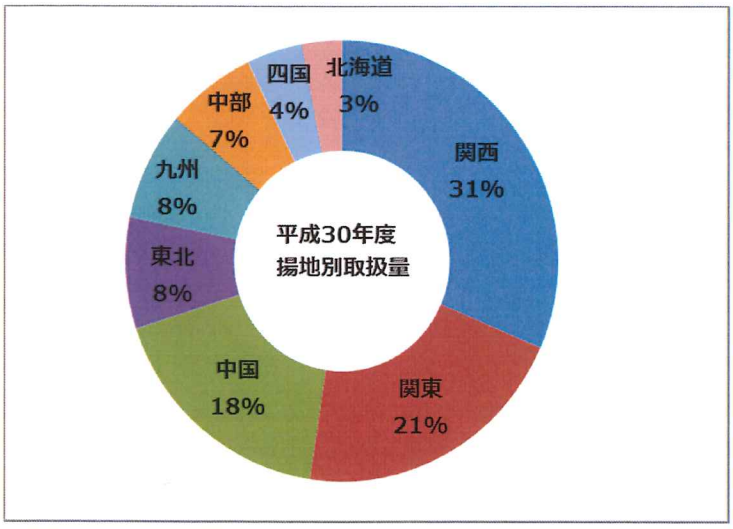
揚　地	実入コンテナ			空コンテナ			合　計			地域別割合（%）
	20’	40’	TEU	20’	40’	TEU	20’	40’	TEU	
北海道	3,078	11,561	26,200	604	248	1,100	3,682	11,809	27,300	3%
東北	6,558	22,422	51,402	5,215	8,827	22,869	11,773	31,249	74,271	8%
関東	21,440	58,756	138,952	11,293	21,601	51,637	29,875	80,357	190,589	21%
中部	4,191	10,461	25,113	8,435	15,746	35,952	8,651	26,207	61,065	7%
関西	42,280	99,435	241,150	4,460	16,604	44,501	53,573	116,039	285,651	31%
四国	3,440	6,973	17,386	10,320	5,105	20,530	13,760	12,078	37,916	4%
中国	6,095	17,158	40,411	15,757	52,064	119,885	21,852	69,222	160,296	18%
九州	11,893	18,298	48,489	8,809	7,456	23,721	20,702	25,754	72,210	8%
総計	98,975	245,064	589,103	64,893	127,651	320,195	163,868	372,715	909,298	100%

［地域別］

北海道：北海道
東　北：青森、宮城、福島、岩手
関　東：東京、神奈川、茨城、千葉
中　部：静岡、愛知、三重
関　西：大阪、兵庫、和歌山
四　国：香川、愛媛、徳島
中　国：広島、岡山、山口
九　州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
熊本、長崎、佐賀

［揚地港別］

北海道：苫小牧
東　北：仙台、小名浜、八戸、釜石、大船渡
関　東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、千葉
中　部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
関　西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津
四　国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
高松、高知、東予
中　国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部
福山、三田尻中関、防府、玉島
九　州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、新門司
油津、八代、長崎、薩摩川内、伊万里、細島



2.(2) 揚地による集計結果　コンテナ（合計・実入・空）別 28～30年度比較

【合計】

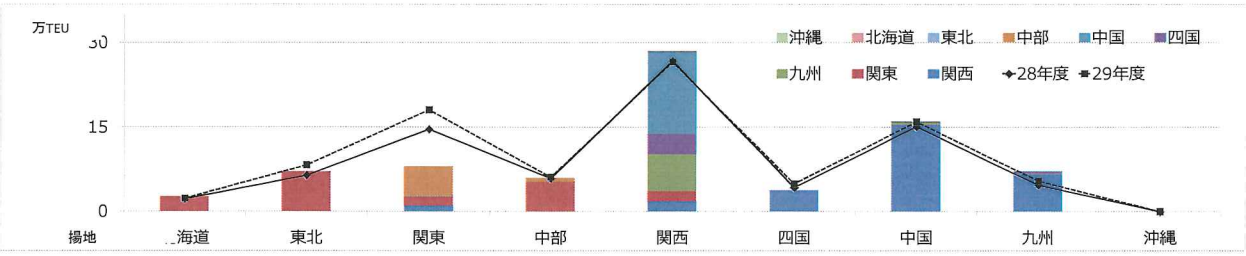
揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	28年度	29年度	30年度	前年比	前々年比
北海道		2,303	33,105	958						22,219	23,158	36,366	157%	164%
東北	30	331	76,419	12						64,606	82,782	76,792	93%	119%
関東	26,866	71,619	16,591	52,114	18,565		222	752		146,392	180,813	186,729	103%	128%
中部	404	18	52,192	6,487	1,144		0	0		59,234	61,267	60,245	98%	102%
関西			10,466	853	18,003	37,870	154,856	66,580		267,936	265,823	288,628	109%	108%
四国				60	37,303	46	405	3,921		42,966	49,477	41,735	84%	97%
中国				0	145,434		164	264		150,847	159,684	145,862	91%	97%
九州			1,816	581	65,202		4,649	693		47,341	54,560	72,941	134%	154%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	27,300	74,271	190,589	61,065	285,651	37,916	160,296	72,210	0	801,541	877,564	909,298	104%	113%

【実入コンテナ】

揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	28年度	29年度	30年度	前年比	前々年比
北海道		1	25,795	404						20,393	21,276	26,200	123%	128%
東北	189	28	51,173	12						41,596	54,986	51,402	93%	124%
関東	9,018	59,025	11,161	47,641	10,311			1,796		114,280	140,822	138,952	99%	122%
中部	0	0	19,935	4,391	233	0	0	554		35,340	27,585	25,113	91%	71%
関西			14,762	203	11,627	27,966	138,338	48,254		226,411	210,533	241,150	115%	107%
四国					17,386	0				20,426	27,114	17,386	64%	85%
中国			0	0	40,411	0	0	0		37,882	41,473	40,411	97%	107%
九州			625	0	44,870	2,756	214	24		32,124	36,938	48,489	131%	151%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	9,207	59,054	123,451	52,651	124,838	30,722	138,552	50,628	0	528,452	560,727	589,103	105%	111%

【空コンテナ】

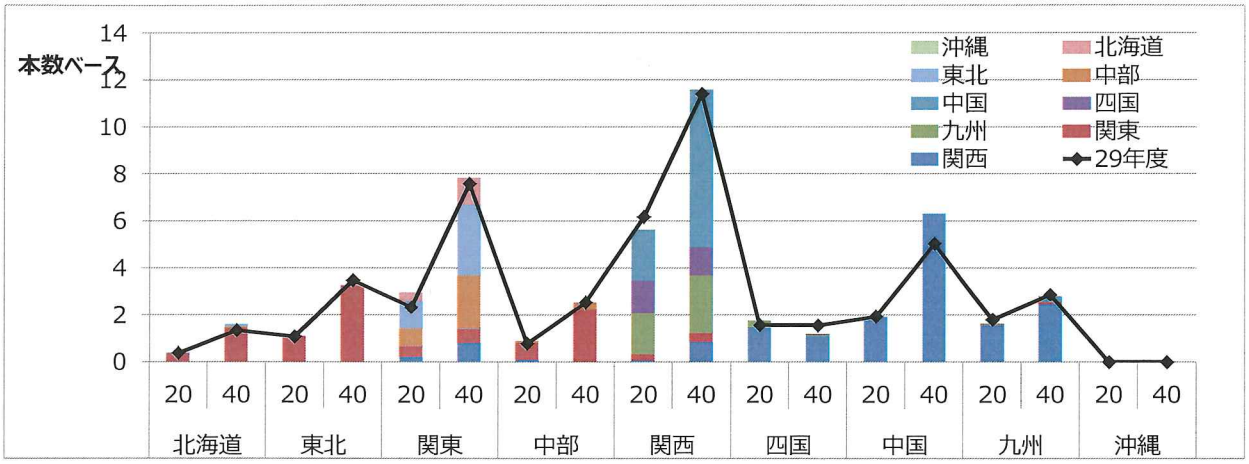
揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	28年度	29年度	30年度	前年比	前々年比
北海道		29	1,071	0						1,826	1,882	1,100	58%	60%
東北	2,114	303	20,446	6						23,010	27,796	22,869	82%	99%
関東	24,087	17,394	5,430	4,551	155			20		32,112	39,991	51,637	129%	161%
中部	958	12	32,179	2,096	620	60	0	27		23,894	33,682	35,952	107%	150%
関西			3,803	941	6,376	9,337	7,096	16,948		41,525	55,290	44,501	80%	107%
四国					20,484	46				22,540	22,363	20,530	92%	91%
中国			222	0	114,445	405	164	4,649		112,965	118,211	119,885	101%	106%
九州			127	0	21,710	1,165	50	669		15,217	17,622	23,721	135%	156%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	27,159	17,738	63,278	7,594	163,790	11,013	7,310	22,313	0	273,089	316,837	320,195	101%	117%

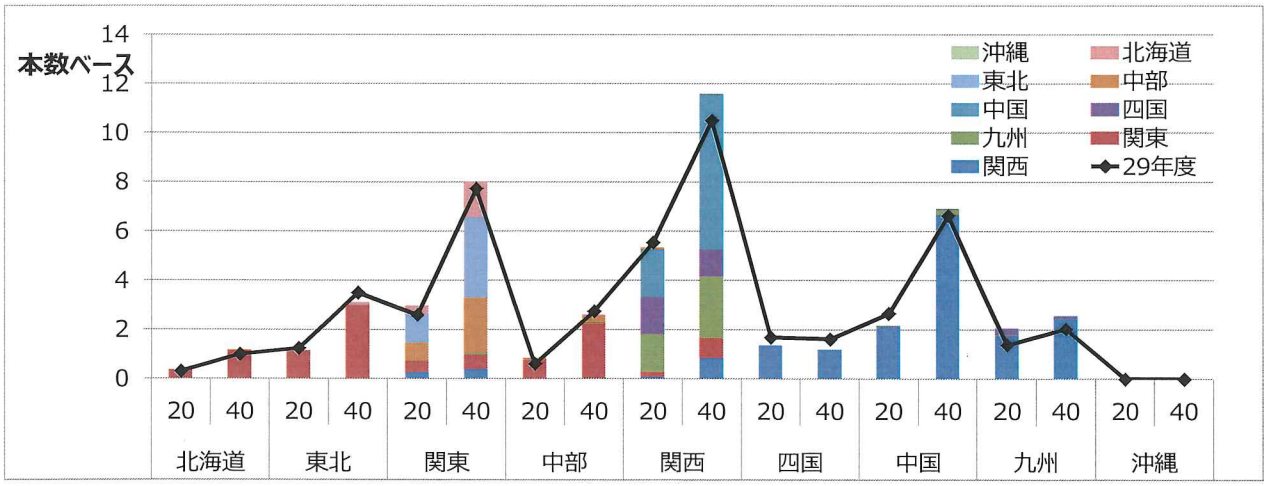


3. 積地・揚地・コンテナ（２０・４０）別による集計結果

(1) 積地別

積地/揚地	コンテナ(ft)	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	29年度	30年度	前年比
北海道	20		163	3,853							3,790	4,016	106%
	40		1,070	14,626	479						13,525	16,175	120%
東北	20	30	59	11,113							10,854	11,202	103%
	40		136	32,653	6						34,786	32,795	94%
関東	20	3,652	11,551	4,653	7,568	2,133		20	86		23,316	29,663	127%
	40	11,607	30,034	5,969	22,273	8,216		101	333		75,877	78,533	104%
中部	20			7,470	841	872					7,881	9,183	117%
	40	202	9	22,361	2,823	136					25,386	25,531	101%
関西	20			2,610	213	755	13,760	21,482	17,672		61,734	56,492	92%
	40			3,928	320	8,624	12,055	66,687	24,454		114,105	116,068	102%
四国	20				0	15,019	0	19	2,549		15,732	17,587	112%
	40				30	11,142	23	193	686		15,679	12,074	77%
中国	20				0	19,274		36			19,367	19,310	100%
	40				0	63,080		64	132		50,421	63,276	125%
九州	20			176	29	15,520		295	395		18,048	16,415	91%
	40			820	276	24,841		2,177	149		28,642	28,263	99%
沖縄	20										0	0	−
	40										0	0	−
計		15,491	43,022	110,232	34,858	169,612	25,838	91,074	46,456	0	519,143	536,583	103%



(2) 揚地別

揚地/積地	コンテナ(ft)	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	29年度	30年度	前年比
北海道	20		30	3,652							3,050	3,682	121%
	40			11,607	202						10,054	11,809	117%
東北	20	163	59	11,551							12,496	11,773	94%
	40	1,070	136	30,034	9						35,143	31,249	89%
関東	20	3,853	11,113	4,653	7,470	2,610			176		26,029	29,875	115%
	40	14,626	32,653	5,969	22,361	3,928			820		77,392	80,357	104%
中部	20			7,568	841	213			29		6,173	8,651	140%
	40	479	6	22,273	2,823	320	30		276		27,547	26,207	95%
関西	20			2,133	872	755	15,019	19,274	15,520		55,489	53,573	97%
	40			8,216	136	8,624	11,142	63,080	24,841		105,167	116,039	110%
四国	20					13,760					16,965	13,760	81%
	40					12,055	23				16,256	12,078	74%
中国	20			20		21,482	19	36	295		26,656	21,852	82%
	40			101		66,687	193	64	2,177		66,514	69,222	104%
九州	20			86		17,672	2,549		395		13,864	20,702	149%
	40			333		24,454	686	132	149		20,348	25,754	127%
沖縄	20										0	0	−
	40										0	0	−
計		20,191	43,997	108,196	34,714	172,560	29,661	82,586	44,678	0	519,143	536,583	103%